

平成25年度 指定管理者評価結果

施設名	岐阜県立陽光園
指定管理者	社会福祉法人 岐阜県福祉事業団
共同体である場合の構成員	
施設所管課	健康福祉部 障害福祉課
管理運営に対する評価についての意見	<p>管理基準の充足状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の関係業務に対する理解や利用者支援の向上への取組みは研修を充実して着実に行なわれている。 ・ 利用者、家族とともに、毎月定期的に個別支援計画を検証し、利用者満足度を高める努力をしていることは評価できる。 ・ CS調査を実施した結果、地域移行への希望者が19名であったということが把握できたことは、職員にとっても今後の個別支援計画への反映や家族とのかかわりなど示唆を得たことは評価できる。 ・ 研究による人材育成の努力している点は評価できる。特に、家族や利用者の講話から、生の声が聞けたことは今後のサービスの向上に活かせるといえる。 ・ 正規・非正規職員の割合は改善されてきている。 ・ 訪問療育事業の利用がないのは、広報・PR不足なのではと思われる。 ・ 身体拘束に関する個別支援計画は家族に確認していることのみが重要なことではなく、身体拘束をしている弊害と3原則に立ち返ることを明らかにする必要がある。 <p>設置目的の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中濃地域の拠点施設として、在宅障がい者の24時間生活支援を実施している。 ・ より一層ニーズに沿うべく、満足度調査を、利用者のみから家族にも広げて展開した。 ・ 利用者数は安定している。 ・ 地域移行希望者の地域移行が実現に至っていない。施設として、より強力なバックアップが必要なのではと考える。 ・ 看護師、生活支援員の人数は、常勤換算に対しては大所帯である。どの職員も標準的な支援ができるよう、個別支援計画の確実な実践をすることで、利用者の満足度を高める仕組みづくりを期待する。 ・ 危険物用の管理は確実に行うこと。 <p>公共性の確保の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害に対する備えや日常の警備に関する業務は良好に行われている。 ・ 特殊浴槽更新、一般浴室のスロープの改修により、安全が一層保障された。 ・ 消毒用アルコール誤飲事故が起きたが、保管場所・管理には十分気をつけていただきたい。 ・ 定期的に夜間・昼間の避難訓練を実施して、防災意識の啓発に努めている。 ・ 自治会活動、施設長との懇談会等、利用者の意見を反映させる機会や場を多様にしている姿勢は評価できる。 <p>経営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営状況は、概ね適正である。拠点区分間繰入金金の支出が減になっている。 ・ 経営効率化に向けた取り組みとその成果については、記載が見当たらない。次年度から記載願いたい。 ・ 施設の維持管理・補修に関して19項目計画があったが、未実施が相当数みられる。今後、実施される見通しがあるのかを明らかにし、優先順位を決定していくことが必要。

	<p><u>その他派生的効果等</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ ボランティアと共同で、事業の推進を図っている。また、介護実習生も積極的に受け入れている。利用者の生活の質が向上される例えば外出支援に取り組んでもよい時期ではないか。・ 地域移行を進めるため、地域で実際に生活しておられる方の話を聞く機会を持つなど、希望実現に向けて働きかけている。
県 の 評 価	<ul style="list-style-type: none">・ 協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。